

雲仙市観光全域データオープン化活用事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・長崎県雲仙エリアは、雲仙・小浜温泉をはじめ、普賢岳のもつ火山や伝統建造物群の街並み等、豊富な観光資源を有する地域である
- ・旅行者に向けた情報発信が十分でなく、体験アクティビティの予約・決済機能も無いため、地域の魅力を伝えきれておらず、消費を促進できていない。また、各温泉地においてデータ収集の手法が異なり、地域一体でデータに基づいた効果的な誘客等の施策が行えていない
- ・本事業では、シームレスな地域サイトでの旅行者のニーズに応じた体験アクティビティ等の情報発信・販売を強化、宿泊事業者等との連携した地域一体でデータを活用した生産性の向上やマーケティング施策による新たな客層の誘客促進に取り組む
- ・上記を通じて、地域の魅力的な商品の提供を通じた旅行者への体験価値向上による消費拡大、宿泊事業者と連携した誘客促進を通じて、雲仙エリア一体で消費の最大化を目指す

事業概要

旅行者に向けて、生成AIを活用した個々の趣味・嗜好に応じた情報提供や高付加価値な商品を含む体験アクティビティの販売促進に取り組む。観光産業では、宿泊予約データを活用しシフト調整や仕入れ最適化等の生産性向上に取り組む。観光地では、体験アクティビティ・宿泊等のデータを活用した富裕層等の新たな顧客獲得に向けて地域サイトと連動したマーケティング施策等に取り組む。

取組エリア:長崎県雲仙市

コンソーシアム名:雲仙市観光データオープン協議会
(代表事業者:雲仙観光局)

実証内容

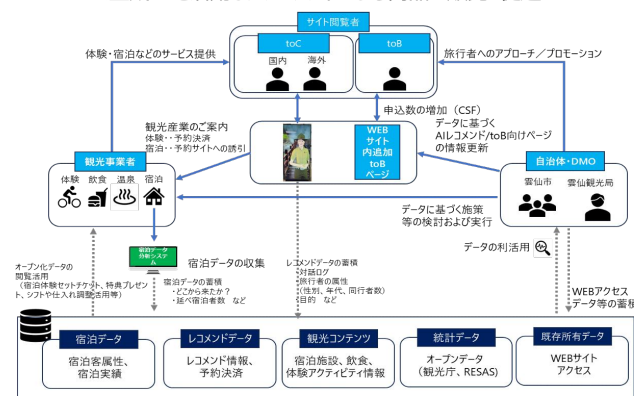
- 1.個人の趣味・嗜好に応じた体験アクティビティ等の販売促進
- 2.雲仙・小浜温泉の宿泊・小売り事業者等が連携した生産性の向上
- 3.富裕層獲得に向けた販売チャネル開拓による誘客促進

目標値

- KGI** 体験アクティビティ等の消費額(1,102万円)
KPI 申込件数(720件)



＜生成AIを活用したレコメンドによる商品の販売・促進＞



＜事業全体像＞

